広報柏谷

柏谷区
広報委員会
発行責任者
区長　芹澤昭二

自治会活動で創り上げる地域の力

～令和4年度の取り組み～

柏谷区長　芹澤昭二

令和4年度、柏谷区長を務めます、1組の芹澤です。過去2年、コロナウイルス感染拡大防止を重視し、各種祭礼・納涼祭、体育大会等のコミュニティ事業、防災・環境整備等の組織活動等、人の集まる事業は自粛させて戴きました。本年も日常生活、行動が制限される中、様々な行事・コミュニティ活動の予定が立てにくい状況に直面しております。

コロナ禍での生活でありますが、「自粛」であれもこれもと強固に制限するより、対策規制緩和の風潮も目立つようになりました。社会機能を取り戻す事にも注力しなければなりません。

柏谷区は、組長会・農業会・シニアクラブ・子供会・地域商工会・地域の会・華の話様等多くの「地域づくり団体」会員の皆様に支えられています。地域コミュニティ事業の協力を中心に、自治会の発展、組織の方々の居場所作り、そして大きな貢献は、「地域の見守り役」です。安全・安心・住みやすい柏谷区と言われるのは、「地域づくり団体」皆様の長年にわたる格別なるご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。また、一人一人は微力でも、力を合わせて安全・安心な地域作りを進める事が柏谷区という、地域に住む私達の大きな努めであります。

一方、このような環境であります自然災害・風水害、頻繁に発生しています地震、いつか必ず発生する地震、いろいろ大震災に備えた防災対策、安全な街づくりはさらに深化させる必要があると考えます。自治会活動が有事の際には、大きな力の源泉に区民の皆様におかれまして、令和4年度柏谷区自治会活動には、諸々の課題に真摯に取り組んで行く覚悟でおります。

なる事と肝に銘じて、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和４年度 柏谷区年間主要行事予定

月　日	行　　事	場　所
7月 3日(日)	流川清掃	流川周辺
7月 9日(土)	八坂神社祭典（お天王さん） (御神輿渡御は中止)	柏谷公民館
7月23日(土)	白雲庵(あたごさん)法要	柏谷公民館
7月30日(土)	柏谷区納涼祭 (予備日　7月31日(日))	柏谷公園 イベント広場
8月28日(日)	柏谷区防災訓練	柏谷区内
9月18日(日)	柏谷区敬老会 (お祝い品配付のみ)	柏谷公民館
9月25日(日)	柏谷区区民体育大会	東小学校
10月 9日(日)	日枝神社例大祭	日枝神社
12月 4日(日)	地域防災訓練	柏谷区内
12月31日(土)	除夜祭式典	日枝神社
1月 1日(日)	元旦祭式典	日枝神社
2月 3日(金)	新三役信任投票	柏谷公民館
4月16日(日)	令和４年度 柏谷区総会	柏谷公民館

※ 諸般の事情により、行事の予定や内容が変更になる場合があります。

副区長
青木　綱雄

副区長を担当します22組の青木です。

『互いに支え合い　住みよい地域づくり』を目指し、人と人との交流を大切に活動を進めたいところですが、コロナ禍の中、従来から引き継がれてきた伝統ある行事が中止や縮小を余儀なくされてきました。最近、ようやく感染症予防対策を講じながら情勢の変化に対応し、徐々に活動を取り入れる兆しも見えてきたように感じます。

自治会活動は住民の繋がりが大切と感じており、世情を見極めつつ、組長さん・関係役員の皆様方のご協力を得ながら取り組んで行く所存です。

区民の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

副区長
（会計担当）
市川　武久

会計を担当させていただきます20組の市川です。

柏谷区に転居して26年、その間に組長、衛生委員それぞれ2期経験させていただきました。年間を通しての取り組みは初めてでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも区民の皆様のお役に立てればと思います。

一年間宜しくお願いいたします。

瑞穂のくにのものがたり

日枝神社宮司　泉明寺みずほ

御多分に洩れず、我が家も夢中になっているのがNHK大河ドラマ鎌倉殿の13人である。史実としてというより、脚本家が料理したお話として楽しんでいる。分かっていても、ひいきにしていた登場人物の死去は物悲しくて翌日まで気持ちを引きずったり。

若き頼朝が過ごした伊豆一円にはたくさんの縁の品、場所が残っていて、それこそ頼朝が座った、頼朝の馬を繋いだ、馬の足を洗った、などというものも今に伝わっている。当時の証拠写真があるわけではないので、若干眉唾なものも無きにしも非ずだが、今はしっかり観光資源の一つになっていたりするので、遺物として確保してくれていたご先祖さまグッジョブである。ドラマをご覧になっている方はご承知だろうが、ストーリーの中で取り上げられる場所は吾妻鏡に出てくる有名どころがほとんど。とはいえ町おこし的な意味も期待するならば、この機会に知る人ぞ知る地元推薦場所をもっと多くの方に知っていただきたい。例えば柏谷には（もう何度も話しているが）時の怪僧文覚上人が頼朝と政子を結んだハートスポットとしての厳島神社がある。御両人の縁結びというと伊豆山神社の認識だが、劇的な再会をするよりぐっと前に柏谷で繋がり始めたのだからどっちかっていうと、縁結びなら厳島神社の方なんじゃないだろうか。馴れ初めは？は新婚さんへの定番質問になる位の重要事項だし「天下を取るには政子を娶れ」と助言され、お互いが歩み寄るきっかけとなった場所は、天下の大カップルの思い出の場所に相応しいと思っている。今後は、乙女が黒髪を切り置いて社殿に奉納、良縁を祈願したという言い伝えとともに、皆様にはぜひぜひたくさんのPRをお願いしたい。

さて、鎌倉幕府がもたらした成果の一つに御成敗式目の制定がある。これは幕府の基本法だが、ここにおいて「神社を修理し祭祀を専らにする」という事が明文化された。つまり「神は人の敬いによって威を増し人は神の徳によって運を添う」のだということを幕府の考えとして明確にしたわけだ。よって、今まで以上に人々は寺社仏閣を大切にするようになった。

また、御恩と奉公で結ばれた御家人たちは、戦によって土地を与えられ、そこには必ず清和源氏の氏神、八幡神社を建立する事が決められていた。今でも日本で一番多いのが八幡神社である。（次は神明神社、皇大神社）

今回の広報柏谷のメインは六万部寺など、頼朝公にまつわる史跡だと聞いている。とても楽しみな企画を立ててくれた編集長さん、ありがとうございます！とても待ち遠しい。※

※「柏谷で探す『鎌倉殿の13人』」はいかがでしたでしょう？（編集部）

編集後記

ご無沙汰しています。昨年8月以来となる広報柏谷ですが、今回は現在放映中のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にちなんだ特集を組んでみました。源頼朝に関する話は伊豆一帯に数多くあります。何もすることがなく伊豆に20年もいたのですから、そこかしこに頼朝の足跡が残っていても不思議はありません。しかし、その頼朝の伝承は、資料や文献などを調べれば調べるほど、諸説あって何を書けばいいのかわからなくなってきます。そこで広報を作るにあたり、六万部寺を訪ねてみたところ、「王城山六萬部寺縁起」の存在を知りました。寺に伝わるものを拠り所とするのが自然だろうと、この「縁起」に基づいて誌面の主要な部分を作成しました。六万部寺の樋口住職には、親切に色々教えていただき大変助かりました。この場を借りてお礼申し上げます。

頼朝ゆかりの地としては、厳島神社も取り上げたかったのですが参考となる資料が見つからずにいたところ、泉明寺宮司のコラムで触れていただき、お かげさまで心残りもなくなりました。

蛇ヶ橋の伝説についても諸説あり、橋になった大蛇の上を渡った、というものが多かったのですが、伝説とはいえ人が大蛇の上を歩くのはどうかということで、広報みしま掲載の伝承を引用させてもらいました。

また、桑原薬師堂では、仏像群を守り通した桑原の人々の尽力に、たいへん感銘を受けました。薬師堂は開放されていますので、皆さんも一度訪ねてみてはいかがでしょう。

広報柏谷については、今年度もう1回発行したいと思っています。皆さんからのご意見ご感想をお待ちしています。

柏谷区総会

令和4年4月17日(日)柏谷公民館にて、令和3年度柏谷区総会が開催されました。

区長挨拶、来賓挨拶に引き続き、議事が行われました。第二号議案収支決算の議事の中で、「コロナで行事ができないと予算が余るのではないか。工夫をして、区費を減額することはできないか。」との質問があり、栗原令和3年度区長から、「来年度に向けて検討することはできる。コロナの状況により、区費の減額も案としてはある。」との回答がありました。

議事の結果、第一号議案から第四号議案まで、すべて満場一致で承認されました。

区費減額等の取扱については、来年度へ向け、引き続き区で検討していくことになりました。

柏谷区自治会ホームページ

昨年度から、柏谷区のホームページを開設しています。多くの皆さんに見ていただけるよう、内容の充実を図っていきます。

柏谷区ホームページへは
こちらからどうぞ！

トップページ　⇒

広報柏谷　⇒
（バックナンバー）